

授業科目名(科目の英文名)
プロジェクト演習 (Exercises in advanced research projects)

区分・分野・コア
必修

必修 選択	単位	対象 年次	研究科	学期	曜・限	担当教員
必修	2	1~3	大学院 博士後期課程			内線 E-mail:

【授業のねらい】

各専門分野の第一線において研究および開発をリードできる研究者・技術者となるための、問題発見能力、企画提案能力、マネジメント力、コミュニケーション能力および協調性・リーダーシップを身につけるための基礎能力修得を目指す。

【具体的な到達目標】

【授業の内容】

受講生は、主指導教員と相談の上、下記の(1)~(3)あるいはそれらと同等の一つあるいは複数の演習を行う。演習の内容は2単位分の認定に相当する内容であるものとする。

- (1) 演習題材となるプロジェクトテーマを決定し、研究開発計画の設定、実行計画を策定し、実際の外部資金へ応募するとともに、内容のプレゼンテーションを行う。
- (2) 演習題材となるプロジェクトテーマを決定し、研究開発計画の設定、実行計画を策定し、外部組織と連携して、計画したプロジェクトを実行し、その結果をレポートにまとめる。
- (3) 演習題材となるプロジェクトテーマを決定し、研究開発計画の設定、実行計画を策定し、専攻や学科において、計画したプロジェクトを実行し、その結果をレポートにまとめる。

【時間外学習】

【教科書】

教科書は特に使用しないが、レポート作成等に必要な資料等は自分で準備すること。

【参考書】

【成績評価の方法及び評価割合】

レポートおよびプレゼンテーション内容

【注意事項】

【備考】

授業科目名(科目の英文名)
国際実践演習(Advanced international engineering skills)

区分・分野・コア
必修

必修 選択	単位	対象 年次	研究科	学期	曜・限	担当教員
必修	2	1~3	大学院 博士後期課程			内線 E-mail:

【授業のねらい】

国際学会における投稿論文の審査,あるいは,国際会議における発表審査を念頭においた研究論文の執筆や校正,あるいは研究討論などの国際的な学術的スキルの習得,あるいは,技術ベースに,国際社会で通用する説明および説得能力の修得を目指す。

【具体的な到達目標】

【授業の内容】

受講生は,主指導教員と相談の上,下記の(1)~(4)あるいはそれらと同等の一つあるいは複数の演習を行う。演習の内容は2単位分の認定に相当する内容であるものとする。

- (1)専攻分野の国際学会の論文審査基準に基づくコンテンツ分析と論文執筆技法を習得し,レポートにまとめる。
- (2)専攻分野の国際会議における発表の構成法や討論技術を習得し,国際会議において成果発表を行うかあるいは,学内において同等形式での発表・討論会において成果発表を行う。
- (3)受講生が技術や社会分野からテーマを選び,英語によるプレゼンテーションを実施し,明快な発表方法,論理的内容構成や有益な表現法等をプレゼンテーションを通じて取得し,レポートにまとめる。
- (4)海外での短期あるいは長期留学を行い,現地での研究や技術での交流経験をレポートとしてまとめる。

【時間外学習】

【教科書】

教科書は特に使用しないが,レポート作成等に必要な資料等は自分で準備すること。

【参考書】

【成績評価の方法及び評価割合】

レポートおよびプレゼンテーション内容

【注意事項】

【備考】

授業科目名(科目の英文名)
俯瞰力養成セミナー(Broad perspective capacity training seminar)

区分・分野・コア
必修

必修 選択	単位	対象 年次	研究科	学期	曜・限	担当教員
必修	2	1~3	大学院 博士後期課程			内線 E-mail:

【授業のねらい】
 先端的科学・技術について幅広い理解力を身に付け、技術経営分野に関する思考力を修得し、多様性に富む応用能力の向上を目指す。

【具体的な到達目標】
 科学・技術の視点と技術経営分野の思考との連携によって、産業を捉えることができるようにする。

【授業の内容】
 受講生は、主指導教員と相談の上、下記の(1)~(3)あるいはそれらと同等の一つあるいは複数の演習を行う。演習の内容は2単位分の認定に相当する内容であるものとする。

(1)産業と技術経営の分野の研究
 経済紙の特定の記事について調べ、レポートを提出する。レポートは、一つ以上のテーマで構成され、2,000字程度でまとめる。

(2)主専門領域以外の講義の聴講
 学会特別講演および学内特別講義・講演などを聴講し、400字以上のレポートにまとめる。

(3)主専門以外の工学系分野の修得
 大学院博士前期課程の授業科目および大学院博士後期課程の授業科目の中から自身の主専門以外の講義を聴講し、講義内容をレポート用紙5枚以上でまとめる。

【時間外学習】

【教科書】
 教科書は特に使用しないが、レポート作成等に必要な資料等は自分で準備すること。

【参考書】

【成績評価の方法及び評価割合】
 レポート内容(2単位分に相当し、主指導教員が認定に値する内容であること)

【注意事項】

【備考】

授業科目名(科目の英文名)
キャリアパス設計(Career-path design)

区分・分野・コア
必修

必修 選択	単位	対象 年次	研究科	学期	曜・限	担当教員
必修	2	1~3	大学院 博士後期課程			内線 E-mail:

【授業のねらい】
 博士としてのキャリア形成に必要な実践的スキルを修得することを目指す。

【具体的な到達目標】
 さまざまな分野の現状や考え方、課題解決方法を学び、志をもって、多様な問題に取り組んでいくことができるようにする。

【授業の内容】
 受講生は、主指導教員と相談の上、下記の(1)~(3)あるいはそれらと同等の一つあるいは複数の演習を行う。演習の内容は2単位分の認定に相当する内容をレポートにまとめるものとする。

(1)学外講演会等の利用
 スーパー連携大学院コンソーシアムで開講する志科目(こころざしかもく)(※1~2)の聴講あるいは学会等で開催されるキャリアパス講演会等に参加し、その概要をレポートにまとめる。
 ※1 前期開講(集中講義)「地域経営特論－現役社長の講話Ⅲ－」
 後期開講(集中講義)「ベンチャービジネス論」
 ※2 本学の博士前期課程在籍時、ベンチャービジネス論、MOT特論Ⅳ(現役社長の講話Ⅲの読み替え科目)の単位を既に取得している場合は、履修計画書提出時、主指導教員及び事務担当に相談・確認すること。

(2)MOT特論(※3)および企業研究
 学会特別講演および学内特別講義・講演(MOT特論における外部講師の講義の回等)などの聴講あるいは企業見学会に参加し、その概要をレポートにまとめる。
 ※3 博士前期課程在籍時、MOT特論Ⅰ~Ⅳの単位を既に取得している場合は、履修計画書提出時、主指導教員及び事務担当に相談・確認すること。

(3)人材育成事業への参加
 他大学あるいは大分県などが主催する人材育成関連事業へ参加し、その概要をレポートにまとめる。

【時間外学習】

【教科書】
 教科書は特に使用しないが、レポート作成等に必要な資料等は自分で準備すること。

【参考書】

【成績評価の方法及び評価割合】
 レポート内容(2単位分に相当し、主指導教員が認定に値する内容であること)

【注意事項】

【備考】